

エスケー液製造

新型湿し水を発売

IPAゼロ、VOC規制に対応

11度と非常に低い上、VOC成分が100%の溶剤だった。このため使用中に90%以上が揮発してしまい、オペレーターの健康を害するとの指摘もある。

オールスターフアントはIPAがなければ印刷できなかったタイプ印刷機でも使用できるため、これまで不可能とされてきた同タイプでのIPAゼロ印刷を実現できる。

製品は油性やUV、ハイブリッドなど多くのインキに対応しており、安定した印刷ができる。

CTP版とPS版の双方に対応して

おり、高性能な腐食防止剤や抗菌剤、錆止剤、消泡剤が配合されているのも特

徴。潤滑成分の配合により、

プランケットの紙離れも向上している。インキの転移性を高め、シャープな網点と白抜き、高濃度なベタを再現しており、生物分解性があるため、環境にやさしい。希釈は2・5%、価格は10リ（ポリ容器）で1万5000円。

同社では、近年の印刷業界で急速なIPAの削減が早急に求められていることから、初年度50台（印刷機ベース）への導入を見込んでいる。

エスケー液製造㈱（本社

・東京都足立区西新井、東

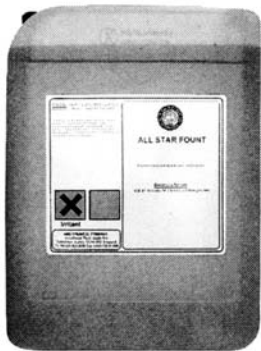
海林克範社長、☎03・3

856・5111）はこの

ほど印刷機用湿し水「オールスターフアント」を発売した。

同製品はIPAやアルコールなど、これまで印刷機用の溶剤として使われてきた製品の代替品となるもの。

従来品のIPAは引火点



環境規制に対応した湿し水